エンブレムポスト TYPE F
施工説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

施工店様へのお願い

■はじめに

●製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
●本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。
●この説明書は、大切に保管いただき、永くお役立てください。
●製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。また、郵便物取出し口の鍵（2 個）を施主様へお渡しください。

■同梱品の確認

●梱包箱のなかにすべての部品、オプション品が納めてあります。
●開梱後ただちに、外側上面に貼付のチェックリストと同梱品の照合を行ってください。
●欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急、お知らせください。

連絡先：ナカシマプロペラ（株）イオス開発グループ TEL086-279-5115

INDEX

■設置上のご注意

●設置場所に製品が収まるかを、施工前に必ず確認してください。
●基礎位置および地中配線位置に、他の配管（水道・ガス）が埋込まれていないことを確認して下さい。
●ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。
●本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

■施工上のご注意

電気工事は、電気用品安全法に適合した部品と工事法に基づいた工事の施工を、電気工事店様にご依頼ください。

●商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。
●製品の改造・変更は絶対にしないでください。
●照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。
●本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。
●設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。
●基礎はかならず基準どおりに工事してください。
●施工時に、本体に物をぶつけたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。
●施工の際、本体塗装部分に粘着テープや養生テープをを貼り付けないでください。
●モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。
または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムの入っていないものを使用してください。
●施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。
●施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。
●施工完了後、照明・インターホン等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。

■梱包内容一覧

●本体ならびに備品

名称	個数
TYPE F 本体	1
蛍光灯型電球	1
表札*	1
郵便物取出し口用鍵	2
施工説明書	1
取扱説明書	1
６角レンチ	1

●明暗センサー（オプション）

名称	個数
明暗センサー	1
取付金具	1

＊表札・明暗センサーはオプション仕様の場合や分譲用途の場合同梱されないことがあります。梱包箱に貼付されたチェックリストで確認してください。

●配管について

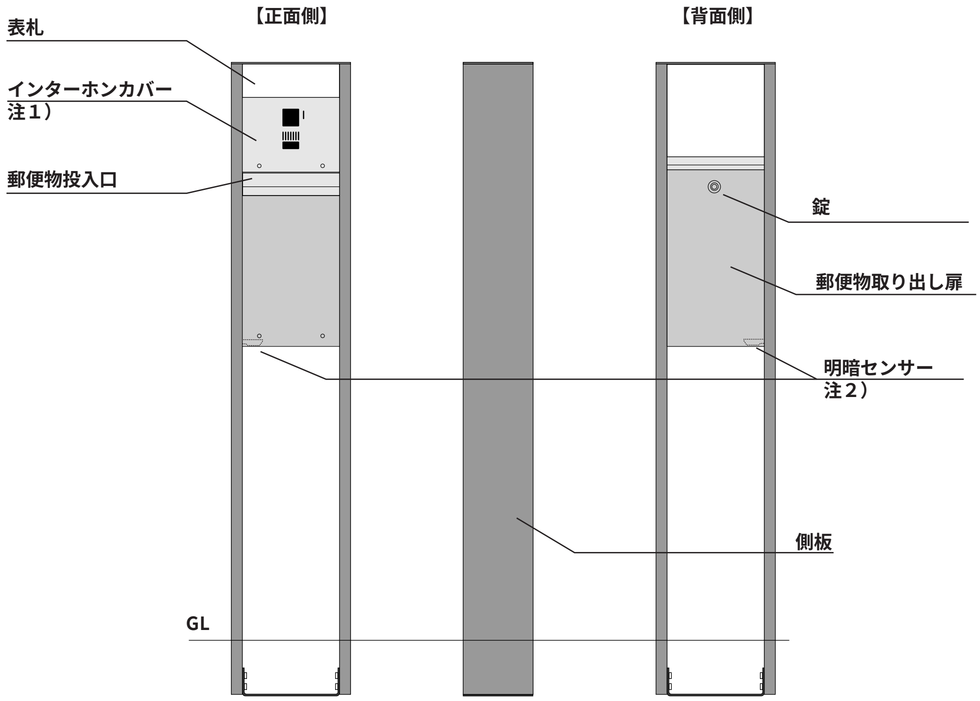
PF 管は付属していません。別途、現場で手配してください。

●インターホン子機について

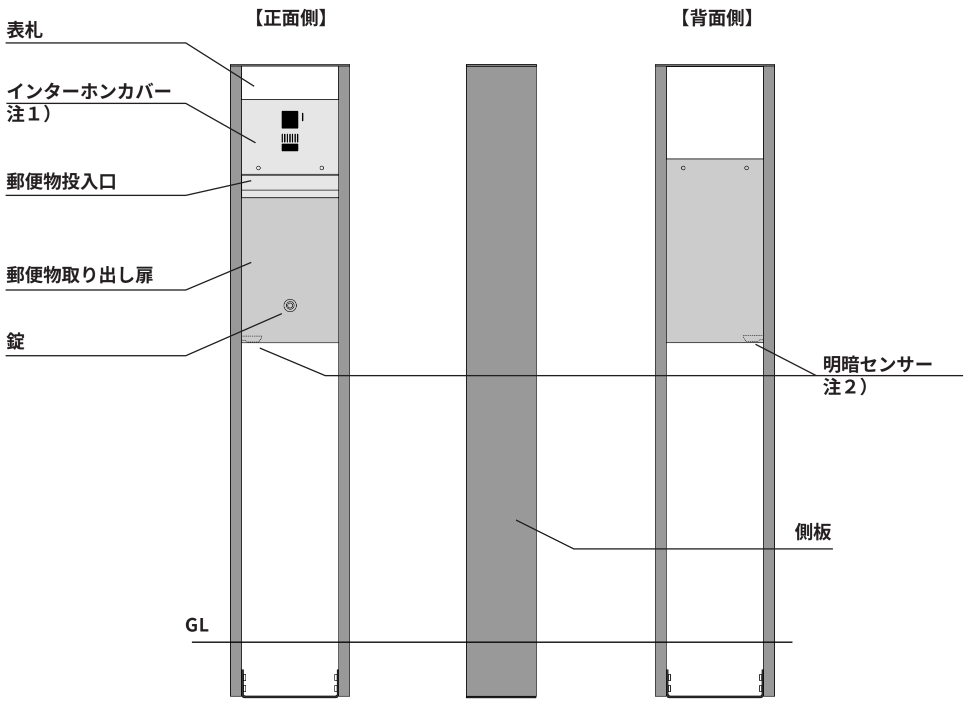
インターホン子機は付属していません。

■各部の名称

●後出しタイプ



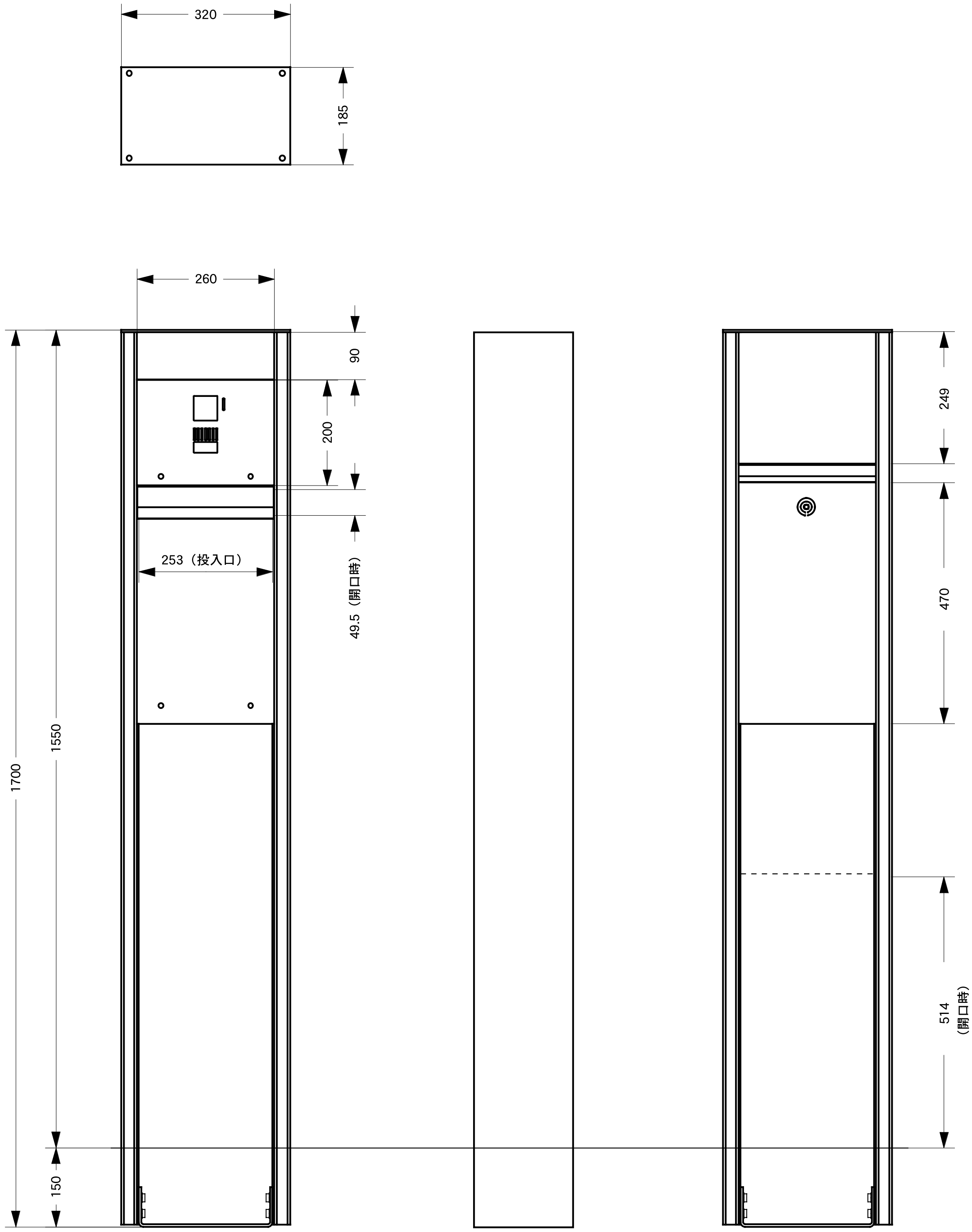
●前出しタイプ



注１）標準仕様のインターホンカバーはスリット加工がありません。
注２）明暗センサーはオプション仕様です。

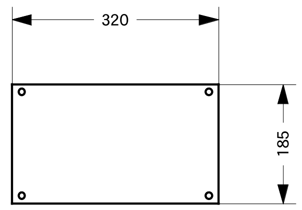
■各部の寸法

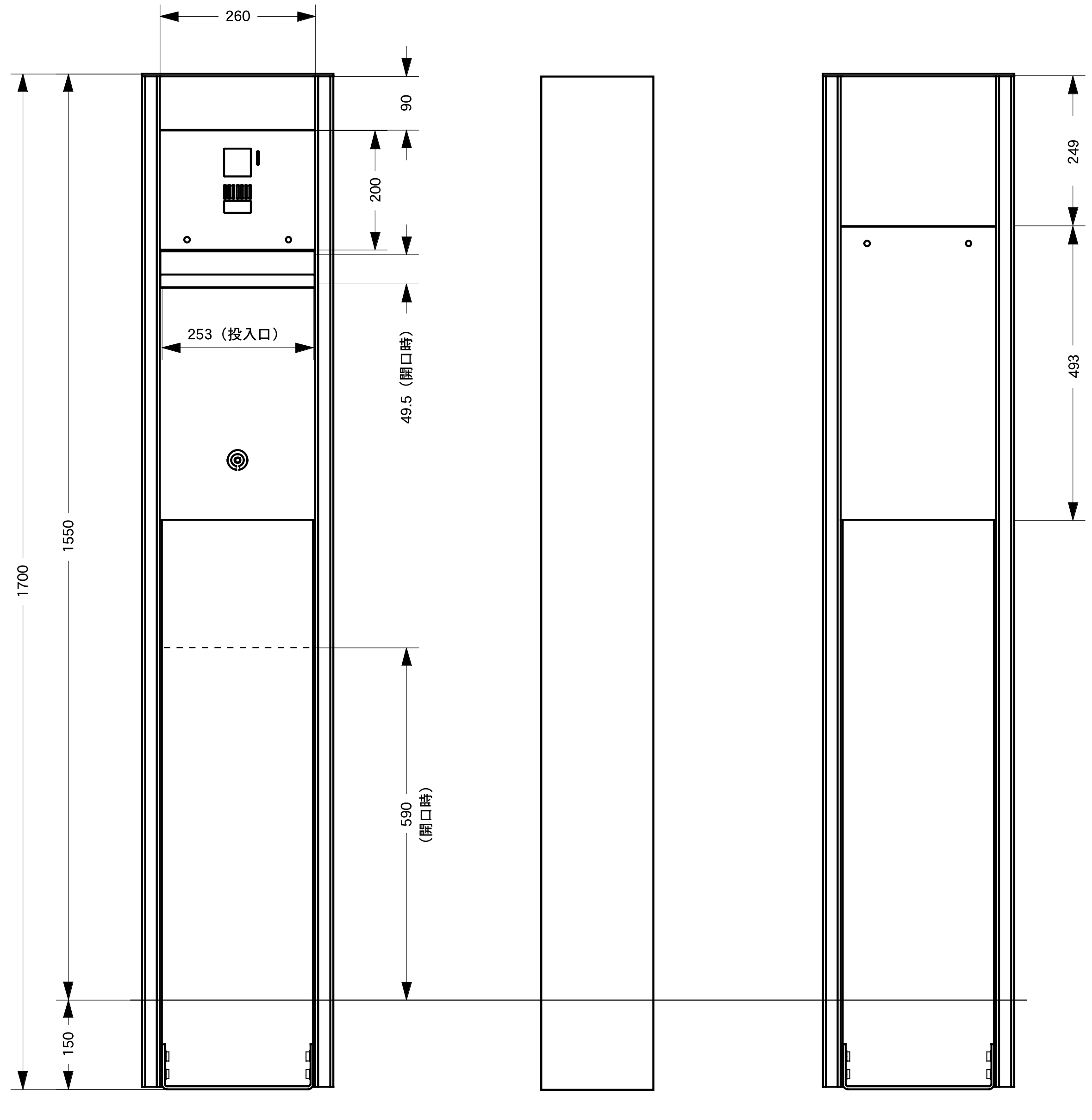
●後出しタイプ



■各部の寸法

●前出しタイプ





■施工手順

★施工中も、本体保護シートを取らないでください。
★本体塗装部に養生テープや粘着テープを貼り付けないでください。

1　基礎工事

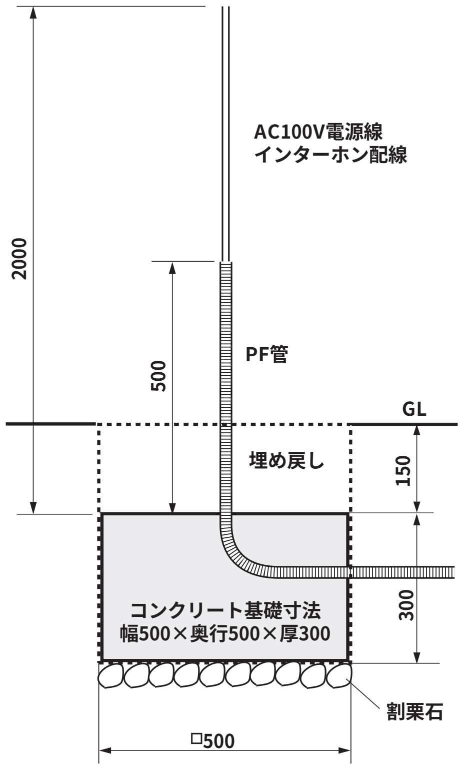
※事前に地中配管用の基礎工事をされる方と十分打ち合わせた上で、工事を行ってください。

●基礎コンクリートの寸法

右図の基礎寸法を参考に穴を掘り、コンクリートを打設してください。その際、現場の状態に合わせて基礎の大きさを考慮してください。

●電気配線

AC100V 電源およびインターホン用の配線は、PF 管を通して本体下部中央部から入るように、あらかじめ基礎に埋込んでください。PF 管の長さは、本体下端より約 500mm、電源ケーブルやインターホンケーブルは同じく、本体下端より約 2000mm 出るようにしてください。



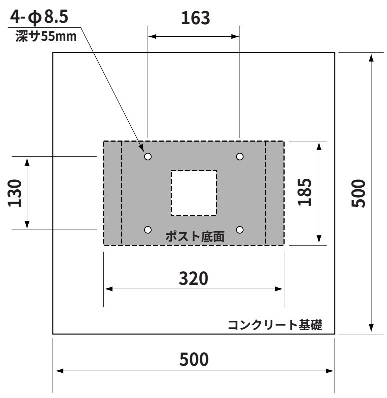
2　本体の設置

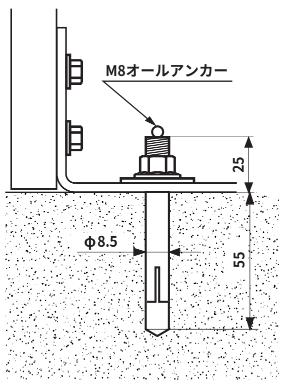
●本体のアンカー固定位置を決めてください。
（＊このとき、中心付近に PF 管がくるようにしてください。）

●アンカー用下穴φ 8.5 深サ 55mm をあけ、穴内の切粉をエアーポンプなどで除去してください。

●本体を設置する前に基礎に本体を仮置きし、本体底板の四角の開口部に PF 管を通しておいてください。

●市販の M8 オールアンカーを 4 本用意し、本体を固定してください。このとき、本体が垂直になるようにしてください。



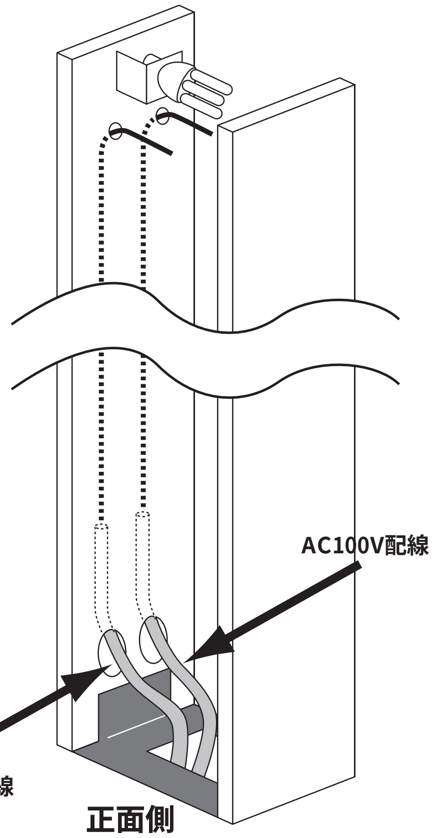


3　本体内の結線

●本体向かって左側のサイドパネルの下部に PF 管をサイドパネル内に取り込むための穴が２つ開けられています。それぞれ AC100V の電源線用とインターホン配線用の穴になっています。

● AC100V の電源線は、背面に近い方の穴に入れてください。サイドパネルの中を通して、ポスト上部の穴から取り出し、蛍光ランプのソケットのラインに接続してください。

オプションの明暗センサー付きの場合は、直接ポスト上部に接続せず、ポスト中程で明暗センサーを取り付けます。詳しくは「4. 明暗センサーの取付」をご参照下さい。



●インターホンを内蔵してご利用される場合（インターホンカバーはオプションです）は、インターホンの配線をサイドパネルの正面に近い側の穴に挿入してください。

インターホン子機の取付に付きましては、「5. インターホンカバー」を参照してください。

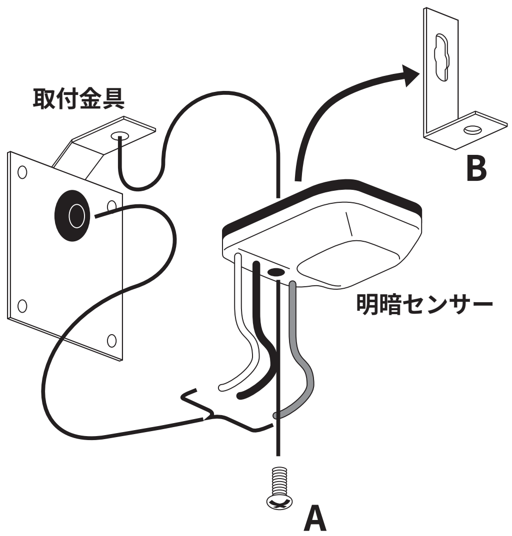
4　明暗センサーの取付

明暗センサーはオプション機能です。明暗センサー付きでご発注頂いた場合のみ、ご利用いただけます。

●明暗センサー本体には、最初Ｌ型金具（Ｂ）がネジ（Ａ）で固定されています。ネジ（Ａ）をゆるめてＬ型金具を取り外してください。（取り外した金具は不要です。）

●ゆるめたネジ（Ａ）で明暗センサーを取付金具に固定します。

●取付金具のグロメットの中心をカッターで切り、明暗センサーの３本の配線を通します。

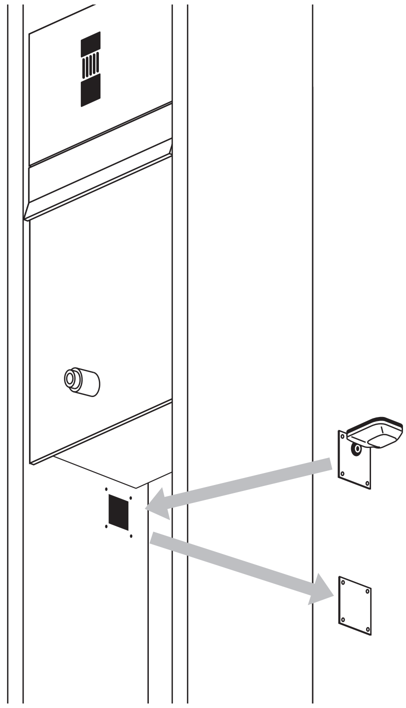


●明暗センサーは向かって左側のサイドパネルの郵便受け下側に取り付けます。

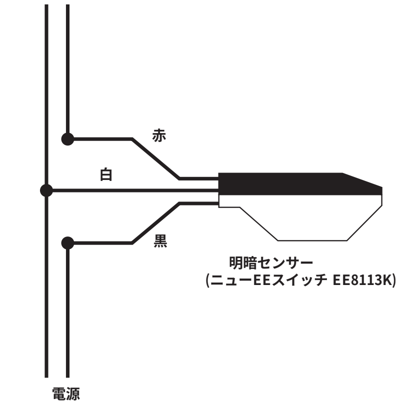
●明暗センサーの取り付け箇所には、ネジ４本でフタが取り付けられていますので、ネジをゆるめてフタをとりはずしてください。取り外したフタは不要です。

●ポスト内部を、右図のように配線してください。配線接続部は圧着スリーブを使い確実に接続し、接続箇所を自己融着テープ、防水テープで絶縁・防水処理をおこなってください。

明暗センサーから蛍光ランプまでの配線（Ｆケーブル等）は、製品に含まれておりませんので、お客様の方でご用意ください。



●図のように接続を完了すると、元のフタを固定してあった４本のネジで明暗センサーを固定してください。

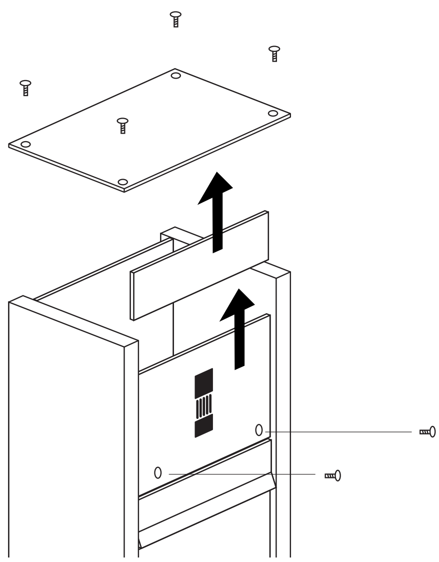


明暗センサー施工後の動作確認については、明暗センサーの箱に記載されている方法に従って行ってください。

明暗センサーの結線は、電気工事の有資格者が法令に則っておこなってください。

5 インターホンカバー

インターホン子機カバーはオプション品です。発注時にインターホン子機カバーのオプションを指定していない場合には、インターホンの取付工事は不要です。



●インターホンの信号線は、本書６ページの「本体内の結線」をご参照の上、配線をすませておいてください。

●まず、 天板の４本のネジをゆるめて、天板と表札を取り外し、インターホンカバー前面の２本のネジをゆるめてインターホンカバーを取り外してください。

ここでは、インターホン子機とその台座（インターホン子機に付属しているもの）の取付や取り外しの作業が発生します。これらの作業につきましては、インターホン子機の取扱説明書をご参照ください。

●インターホン子機より、インターホン子機の台座を取り外してください。（台座の取り外し方は、インターホン子機の取扱説明書をご参照下さい。）

●インターホンカバーにネジ止めされている子機取付金具を取り外し、金具に付属のネジ（M4 ネジ）で、インターホン子機の台座を固定してください。【図１】

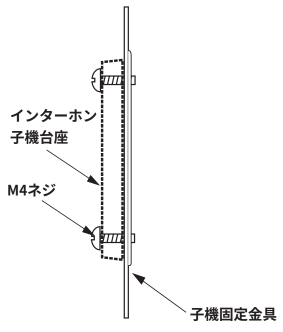
●インターホン子機の取扱説明書に従って、インターホン信号線を子機に接続してください。このとき必要に応じて、信号線を台座の中を通しておいてください。

●インターホン子機本体の取扱説明書に従い、子機取付台座に子機を取り付けてください。

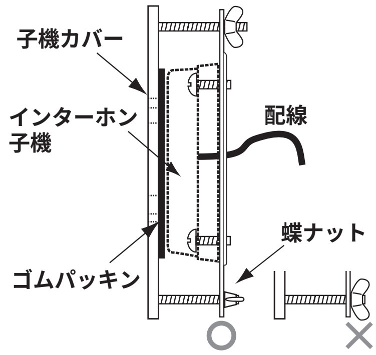
●取付金具をインターホンカバーの埋込ボルトに合わせ蝶ナットを締めてください。なお、蝶ナットのつまみは、図のように水平になるようにしてください。
（【図２】通常パッキン）

●図３のような特殊なゴムパッキン（厚みが 20mm くらいあるもの）の場合は、子機をゴムパッキンの中に先に押し込んだ後、子機カバーにとりつけてください。
（【図３】特殊パッキンの場合）

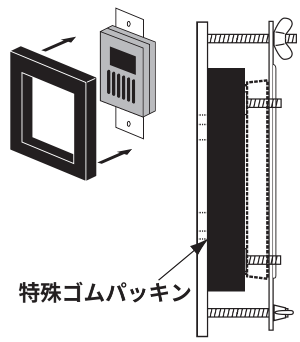
●インターホン子機を取り付けたインターホンカバーをエンブレムポスト本体上部よりスライドさせて取り付けます。表札プレートを入れて、インターホンカバー及び天板をネジ止めしてください。



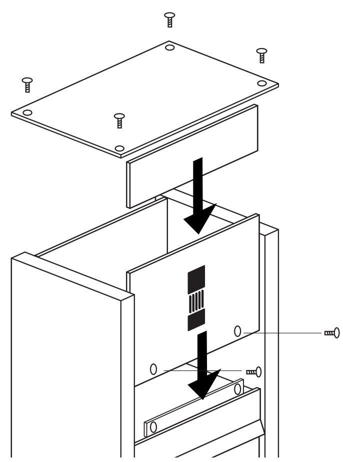
【図１】金具に子機台座を取付る



【図２】通常パッキン



【図３】特殊パッキンの場合


【図４】ポスト本体への取付

6　同梱部品の組込み

電球の取り付け

安全のため、室内側の電源スイッチを切って作業してください。

●六角レンチを用意し、天板を止めている４本のネジを外し、天板を取り外してください。

●電球のソケットに、付属の蛍光灯型電球をねじ込んでください。

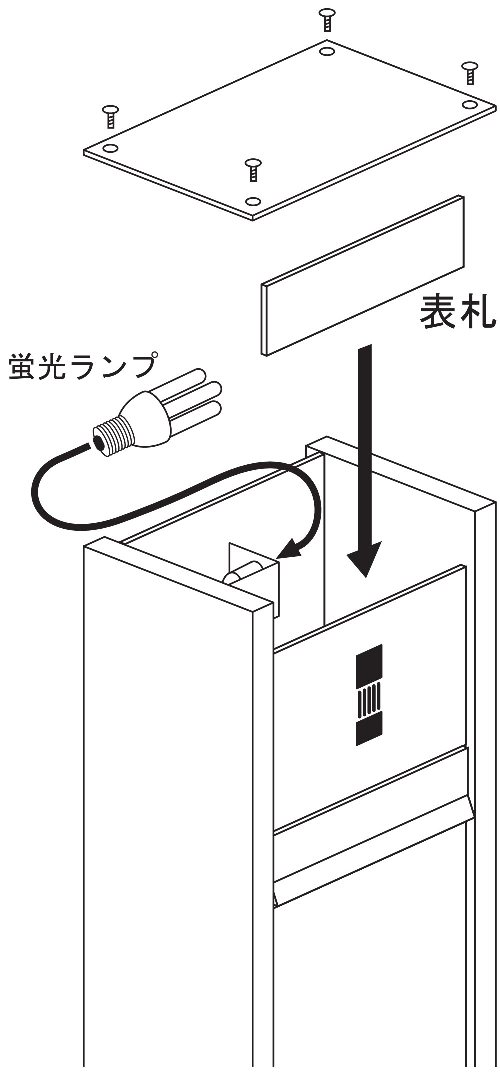
●取付が終わったら、天板を取付けてください。

表札板の取り付け

●天板を止めている４本のネジを外し、天板を取り外してください。

●表札板を、ポスト正面手前側のミゾに差し込んでください。

●天板をもとの位置に合わせ、４本の止めネジで固定してください。



止めネジを外す際、シリコンワッシャーを無くさないように注意してください。このシリコンワッシャーは雨水の浸入を防ぐための部品です。

止めネジを強く締め付け過ぎないでください。

建売などの場合でご入居者のお名前が未定の場合などには、名前入りの表札は同梱されていません。

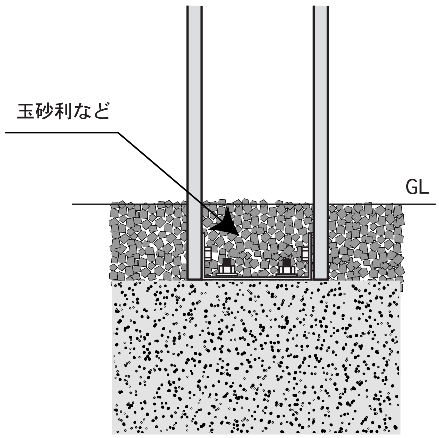
7 基礎の埋め戻し

●以上で施工は完了しました。照明の点灯、各部に不具合がないかなどの施工確認を行ってください。

●必要に応じて、本体に巻き付けたままの保護シートを剥がし、傷の有無などを確認してください。

●すべての確認が終わったら、基礎から GL までの穴を適宜埋め戻してください。

このとき、右図のように玉砂利など、掘削の容易な方法で埋め戻すことにより、万一の場合のポストの移動が可能になります。また、将来ポストを廃棄する際にもポストを容易に基礎コンクリートと分離することができ、処分が容易となります。環境保護などの観点から、できるだけ、埋め戻しの際にはコンクリートで固めないようにお願いします。



お願い 埋め戻しの際には、できるだけコンクリートで固めず、玉砂利などを利用してください。